

# 頼朝のひじ松の謎



① ② ③ ④ → ?

--	--	--	--

## 頼朝のひじ松

源頼朝は「富士の巻狩」と呼ばれる大規模な軍事演習を行うため、富士を目指しました。途中、足柄峠の麓で月を愛でようとする松の枝が邪魔だったため、家来に命じて枝を曲げさせました。その後も枝は肘が曲がったままになったので「頼朝のひじ松」と呼ばれることになりました。

謎解きのヒント：絵は上から「まき」「かま」「まり」だよ。

※謎解きに関する現地へのお問い合わせはご遠慮ください

## 足形社の謎

**A** → タコやイカがはきだすもの

**B** → 外出して家にいないこと

こたえは **ABA**

--	--	--	--

### 足形社

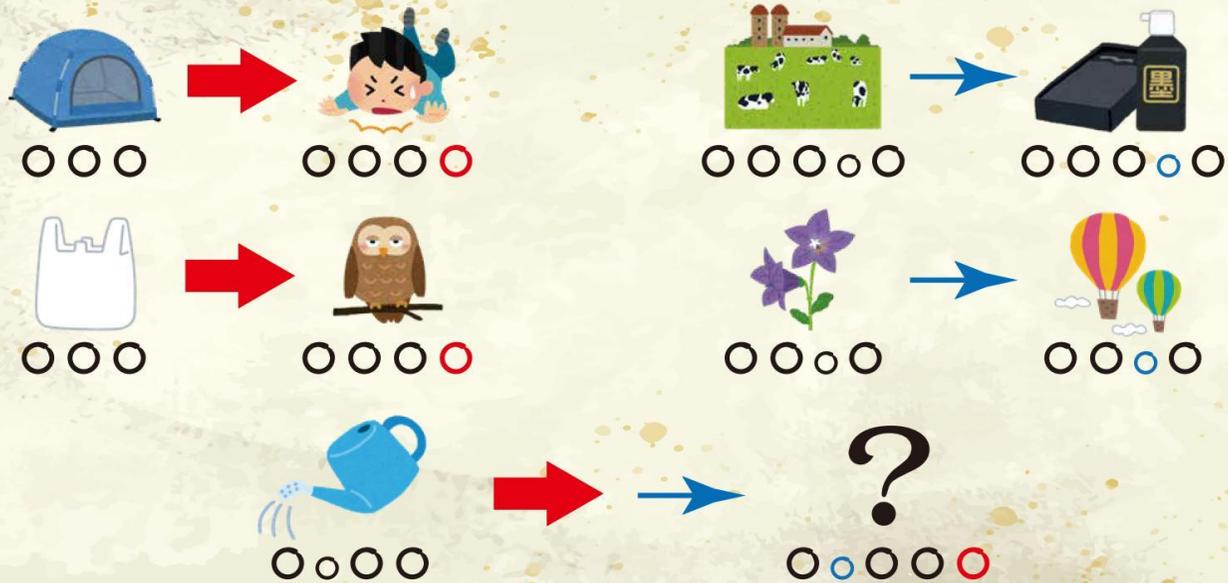
源頼朝の愛馬「磨墨(するすみ)」の誕生地で、磨墨の足の形がついた大きな石が祀られています。

足形社のある地区は、昔は炭焼所と呼ばれていました。

周辺には生駒、駒形、駒千代など馬にちなんだ地名が多く伝わり、馬の産地であったと考えられます。

謎解きのヒント：Aは「すみ」、Bは「るす」のことだよ。

# 曾我兄弟の墓の謎



--	--	--	--	--

## 曾我兄弟の墓

精進池近くにある巨大な五輪塔です。3基の内2基は曾我兄弟のもの、一段低い石塔は十郎の思い人である虎御前の墓と伝えられています。虎御前の墓とされる石塔には1295年に地蔵講により建立されたことが記されています。磨崖仏群と同様に地蔵信仰と関連を持つものです。

謎解きのヒント：赤い矢印は文字を増やすよ。青い矢印は文字を変えているよ。

※謎解きに関する現地へのお問い合わせはご遠慮ください



## 兜石・立石の謎

イ 2 8<sup>2</sup> 2

--	--	--	--

### 兜石・立石

兜石は、石橋山の戦いで敗れた源頼朝が山中を逃げる途中、休息をとるために兜を脱いで置いたと言われる石です。その近くにあるのが立石で、頼朝が自らの天下を占うために投げたと言われ、見事に山の中腹に立ったことから運が開け、鎌倉幕府を開くに至ったと言い伝えられています。

謎解きのヒント：赤い数字を漢字に直してみよう。

※謎解きに関する現地へのお問い合わせはご遠慮ください

# 上総介塔の謎

7 8

能

5 6 7

祝

1 2 3

単

1 2 3 4

祝

--	--	--	--

## 上総介塔

上総介広常は、坂東随一の大豪族的領主で2万の兵を率いて頼朝の軍営に参集し鎌倉幕府の樹立に大きく貢献しました。この塔の主がどの上総介であるかには諸説あるようですが、地元では、上総介広常として伝わっています。道の傍らにある石塔は、昭和59年に地元の有志により復元されました。

謎解きのヒント：漢字の書き順を考えてみよう。

※謎解きに関する現地へのお問い合わせはご遠慮ください

# 岡崎義実公銅像（岡崎公民館敷地内）の謎

SNOW

ゆき

WAVE

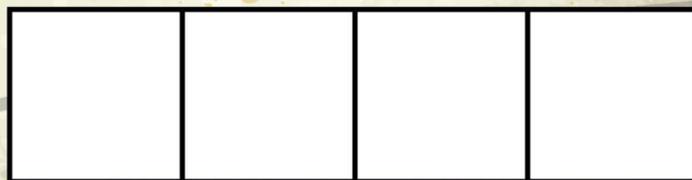
なみ

TEA

ちや

GOD

かみ



## 岡崎義実公銅像（岡崎公民館敷地内）

三浦一族。三浦義継の四男。嫡子真田与一義忠とともに石橋山合戦に参戦し与一を亡くすも、終始頼朝とともに行動。次男義清は、土屋宗遠の養子となる。公民館の背後にある岡崎神社は義実時代の岡崎城の中心部と考えられている。神社の紋は三浦氏の家紋に由来し、岡崎小学校の校章にも引き継がれている。

謎解きのヒント：左から漢字に直すと「雪」「波」「茶」「神」だよ。

※謎解きに関する現地へのお問い合わせはご遠慮ください

# 善栄寺の謎



の時 の ほ う → ?



--	--	--

## 善栄寺

如意山善栄寺は、曹洞宗の寺院です。建保3年(1215年)、巴御前(ともえごぜん)が木曾義仲(きそよしなか)と和田義盛の菩提を弔うために創建したといわれています。創建当初は律宗の寺でしたが、延元3年(1338年)、鎌倉円覚寺の東明恵日和尚(とうみょうえにちおしょう)が足柄の地に隠棲した時に再建されて臨済宗となり天文23年(1554年)に北条氏康の夫人瑞溪院殿(ずいけいいんでん)が帰依して曹洞宗に改められました。

謎解きのヒント：五十音表で考えてみよう。「へ」と「そ」の右は「ね」と「こ」になるよ。

※謎解きに関する現地へのお問い合わせはご遠慮ください

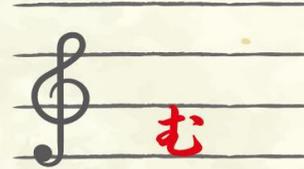
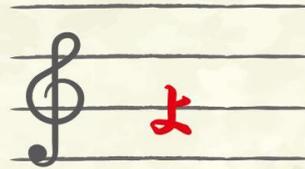
# 福寿寺の謎



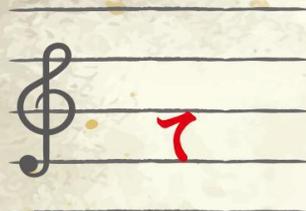
が



の時



は何？



が



--	--	--	--

## 福寿寺

開山は慶叔大考禅師大和尚で、建暦2年(1212年)3月、開基は三浦大介義明の孫にあたる三浦駿河守義村で、寺は正治2年(1200年)3月建立とされています。御本尊は聖観世音菩薩で、行基菩薩の作といわれています。寺宝として、三浦義村が愛用したと伝えられている鞍、鎧、脇差等が保存されています。三浦氏は、源頼朝が鎌倉幕府を開くまでの間、一族を挙げて頼朝を援け、強い信頼を得ていました。この時期の三浦氏は北条氏を凌ぐ勢力で、義村は三浦氏の最も隆盛の時代を築いた人であります。寿永3年(1184年)2月、一の谷の鶴越の山路で迷ったとき、日頃信仰していた南向院の地藏菩薩が義村の馬首に現れ、義村を導き、頂上に至るや「この坂を下るべし」とのお告げを得て、叔父義連等と坂を馳せ下って大勝を得たと伝えられています。今、塔頭南向院の跡地には、大正10年(1921年)3月に建立した三浦義村の墓碑があります。

謎解きのヒント：「あ」が五線譜の「シ」の所にあるから「足」になるよ。

※謎解きに関する現地へのお問い合わせはご遠慮ください

# 寒川神社の謎

かち⇔まけ

たて⇔①〇

みぎ⇔〇〇②

かこ⇔〇〇③

した⇔〇④

①②③④→?

--	--	--	--

## 寒川神社

『吾妻鏡』によれば、寿永元年(1182)8月11日、源頼朝は妻の政子の安産祈願のため奉幣の使者を寒川神社に遣わしました。その時寒川神社に向かったのが、梶原景時の次男の景高です。そして、無事誕生されたのが、源頼家です。また、建久3年(1192)8月9日に頼朝は神馬を奉納し、実朝誕生に際して安産のため誦経を依頼したとの記録が残っています。

謎解きのヒント：⇔は反対の関係を表しているよ。それぞれの反対の言葉を考えてみよう！